

















## マテリアリティ／中長期目標

### マテリアリティ




当社では、2021年3月にSDGsやESGを意識したマテリアリティの見直しを実施しました。見直しにあたっては社内タスクフォースを組成、さまざまな部署から年齢・性別を問わず選出した12名のタスクメンバーとともに、当社のありたい姿、社会環境などの議論を重ね、特に重要と考える6つのマテリアリティを特定しました。

社員一人ひとりがこのマテリアリティを意識し、事業内外の活動を通じ、社会課題の解決と社会貢献へ取り組むことで、サステナブルな社会を実現することを目指しています。

	マテリアリティ	SMASの取り組み課題	貢献するSDGs
E	 未来を生きる世代が安心できる地球環境の実現	・脱炭素・循環型社会へ向けた取り組み	 
S	 新たな価値提供によるモビリティ社会の発展	・モビリティプラットフォームへの進化 ・人・モノの移動に関する安心・安全な社会の実現	 
	 パートナーとの共創による相互成長	・パートナーとの関係強化 ・公平・公正な取引慣行の実施	 
	 地域社会との共生	・地域社会の発展に寄与するソリューションの提供 ・社会貢献活動への積極的な参加	 
G	 人権の尊重と人財基盤の強化	・働きがいのある職場環境の整備 ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進	 
	 健全な企業活動の継続	・コーポレートガバナンスの維持・充実 ・コンプライアンスの強化 ・リスクマネジメントの強化	

### 中長期目標

当社は、2017年から「中長期環境目標」を掲げ、活動を推進しています。マテリアリティへの実効性を高めるために、2021年度からは社会課題についても2030年のゴールを目指した中長期目標を策定し、活動のレベルアップを図っています。

	マテリアリティ	項目	中長期目標
E	 未来を生きる世代が安心できる地球環境の実現	社用車の電気自動車(EV)化促進	2024年度までに50%EV化 2030年度までに100%EV化
S	 新たな価値提供によるモビリティ社会の発展	安心・安全な社会の実現に向けたハードの提供と持続的なソリューション開発	重大交通事故(死亡事故): 2030年までにゼロ
		女性管理職比率	2027年度までに15%
S	 人権の尊重と人財基盤の強化	人財育成	社員能力開発時間の拡大: 2027年度までに20時間以上/人

### 事業計画「SMAS Evolution 2023 ∞」

当社は、2023年4月に新たな事業計画「SMAS Evolution 2023 ∞」をスタートしました。当社のありたい姿を「サステナブルな社会に向けたモビリティプラットフォーム」とし、実現に向けた大方針を①事業領域の拡大 ②事業基盤の維持・強化 ③社会変化への対応と定め、2027年に向けた明確なゴールとKPIを設定し、実行してまいります。

### ISOへの取り組み

- ・ISO14001(環境マネジメントシステム)を全国30拠点で取得
- ・ISO39001(道路交通安全マネジメントシステム)を東京・大阪本社で取得